

第40回 病態生化学セミナー

日時：平成22年12月13日（月曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：プリオン病の生物学

Biology of prion disease

演者：徳島大学 疾患酵素学研究センター 神経変性疾患研究部門 教授

坂口 末廣先生

プリオン病は、感染性蛋白質「プリオン」により引き起こされる神経変性疾患である。プリオンは、主にアミロイド繊維を形成する異常プリオン蛋白質（以下、異常プリオン）から構成されている。この異常プリオンは、正常の神経細胞に発現する正常プリオン蛋白質（以下、正常プリオン）が構造変換を起こしたものである。プリオンが体内に侵入すると、構成成分である異常プリオンが正常プリオンに作用し異常プリオンに変換させ感染が成立する。一旦感染が成立すると、新たに産生された異常プリオンは新たな正常プリオンを異常プリオンに変換させる。感染脳では、この反応が構成的に起こり、異常プリオンが過剰に産生され、神経細胞死が起こる。本セミナーでは、我々の最新の知見を紹介し、プリオン病の神経細胞死のメカニズムについて議論したい。【坂口末廣】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp